

動画に登場するのは、3Dプリンターで製作した「クラゲポンポン舟」です。一般的なポンポン舟は船の形をしていますが、この作品は海を漂うクラゲをモチーフにしており、丸みを帯びた愛らしい姿が目を引きまします。中央には熱源となるアルミ容器入りの燃料を載せ、その熱で銅管内の水を周期的に出入りさせることで推進力を生み出します。周囲には小さな魚も浮かべられており、水槽の中に小さな海の世界が再現されているようです。

このクラゲポンポン舟の特徴は、躯体をできるだけ丸っこい形状にし、さらに2本の排水管を同じ方向へ曲げて配置している点です。通常のポンポン舟では進行方向が安定しないことがありますが、排水の向きをそろえることで推進力に偏りが生まれ、より明確な指向性を持たせることができます。その結果、水面上での動きが予測しやすくなり、安定した旋回運動を続けることができるようになりました。

特に実験用の小型水槽では、この工夫が大きな効果を発揮します。直進性が強すぎるとすぐに壁へ衝突して停止してしましますが、このクラゲポンポン舟はゆるやかに円を描きながら進むため、限られた広さの中でも長時間走行できます。壁に当たる回数が減ることで観察や撮影もしやすくなり、ポンポン舟としての実験成功率も高まります。可愛らしい見た目の中に、水槽という限られた環境で確実に動かすための工夫が詰め込まれた、遊び心と技術が両立した作品といえるでしょう。

